

一般社団法人日本専門医機構
理事長 池田 康夫 殿

一般社団法人 日本病院会
会長 塚 常雄



日本専門医機構のあり方について（要望）

新たな専門医制度への移行は、旧来の学会主体の専門医の問題点を解決すべく、より質が高く社会から信頼の得られる専門医の養成を目的としており、現在その移行に向けた取り組みが進められています。日本病院会としてもその主旨と理念に賛同し、会員病院の中から、公私別、開設主体別に委員を選任した委員会を新設し見識を深めるなど、大きな関心をもって専門医制度の展開を見守ってまいりました。

最近になってプログラムやその策定プロセスの詳細が明らかになるに従い、新たな専門医制度の問題点や制度施行に伴う弊害や事業継続に対する不安や危惧の念が抱かれ、日本病院会の多くの会員病院に重大な影響、とりわけ地域医療の崩壊などに繋がる事態や専攻医の身分保障の不明瞭などを懸念する声が多く出てきました。

それらの病院側の不安を払拭し、より望ましい専門医制度の確立のため、下記の意見をご検討いただくよう要望いたします。

記

1. プログラムの多様性と豊富化と選択制での一層の指導力を発揮されること。

プログラムについては、その多様性を確保し、多くの病院が基幹施設として認められることが望ましいが、現実には基幹施設として、大学のみが優遇的に扱われ、他の医療機関を排除する行動がみられる。プログラムは公募がうたわれていても、実際には大学、特定機能病院などに限定されており、多様性は確保されず、参入障壁を形成しているのが現状である。こうした状況は専攻医の自由な選択を阻み、結果的に比較

によるプログラムの評価が行われず、質の低下に繋がることを懸念する。また、プログラム策定のプロセスが不透明であり、学会主体の専門医制度の反省のもとに新たな制度が発足することになったにも関わらず、以前と変わらない策定主体とプロセスは専門医機構の主旨に沿ったものとは言えない。特に専門研修プログラム研修施設評価・認定部門委員会の委員の多くが大学関係者に偏在し、大学寄りの運営がなされている現状がある。また、一般病院の基幹施設への参加を抑制したり、圧力をかけたりなどの事例もあり、機構として指導力を発揮し、公正な運営がなされるよう望まれる。

2. プログラム決定等の調整における承認力を発揮されること。

公開されたモデルプログラムを詳細にみると、学会間のバラツキが大きく、統一的な制度の体をなしておらず、学会任せのプログラムとなっているように見受けられる。各学会の専門性はある程度尊重すべきであるが、制度としての統一性を持ったプログラム構築がなされるよう、機構が一層の承認力を発揮されることが望まれる。

3. 国民・患者、行政、医療関係者、専攻医等の関係者への速やかな情報開示等の責任性を発揮されること。

モデルプログラム募集と締め切りが近く、議論に参加していない一般の病院は大学などに比べ、圧倒的に不利な状況である。こうした不公平を是正すべく、各委員会の委員の偏在を是正するなど、透明性を確保し、公正な議論がなされる場を提供すること、また、速やかな情報開示等の責任性を発揮することが望まれる。

4. 専攻医の身分、待遇規定での指導力・調整力を発揮されること。

専攻医の保険や労働基準法に定められた雇用契約などの処遇、権利・義務関係の取り決めなどの大まかな方針が議論されておらず、身分保障も曖昧なまま、個々に恣意的な制度運用がなされるのではないかと危惧しており、特に給与は生活保障と安定的な研修において重要であり、行きすぎた高給あるいは低賃金など、多くの医療関係者や法律の専門家、社会保険労務士等を交えて、議論がなされるべきである。また、専攻医取得後の職場・職域選択については、個人の権利として尊重されるべきものとし、機構として指導力・調整力を発揮し、公正な議論がなされる場を提供することが望まれる。

5. 新制度開始時期について統率力・決断力を発揮されること。

新たな専門医制度の発足時期について、これまでの診療科と総合診療科を分けて考え、新制度開始時期について熟慮し、総合診療科から新制度を始め、残りの18の基本領域については、外部評価委員会をはじめ、関係部門の最終意見集約の下、機構として統率力・決断力を発揮し、開始時期を遅らせる判断が望まれる。

6. 相談窓口を設置し指導力を発揮されること。

新たな専門医制度の理念に沿わない行動や、違法性の疑いのある行為に対しては、機構が相談窓口を設置し、指導・改善を行うことが望まれる。

7. 組織強化のための判断力を発揮されること。

上記全てを断行するためには、制度を支え担う病院からなる病院団体を社員として迎え、機構として判断力を発揮し、盤石な組織強化をすることが望まれる。

以上